

調査票「議会報等発行の概要」（船橋市議会）

項目	内容
① 名称	ふなばし市議会だより
② 創刊	1964年(昭和39年)3月10日
③ 発行形態	議会報単独発行
④ 発行回数	原則年4回(定例会ごと。その他改選時等に臨時会号を発行)
⑤ 発行部数	約298,000部(1号当たり)
⑥ ホームページ掲載	PDF形式で掲載
⑦ 規格	<p>(ページ)16ページ (判型)A4判 中綴じ 穴あけ(2穴) (紙質)コート紙 4/6判 68kg (段組)18文字×32行×4段を基本 (色)オフセット印刷 全面4色カラー (サイズ)13.5Q (行送り)21.75Q</p>
⑧ 配布方法	<ul style="list-style-type: none"> 市内全世帯にポスティングにより配布。障害福祉施設や高齢者団体に配布を委託し、残りの地域を一般事業者に委託している。 市内公共施設、主要鉄道駅(24駅)に配架 平成28年11月発行の226号から市内コンビニエンスストアに配架 平成29年1月発行の227号から市内公衆浴場に設置 令和2年1月発行の241号より、市内の高等学校へ広報委員が持参し、配架をお願いしている(現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から持参を見合わせている)。その他、市内の大学、専門学校へも郵送している。
⑨ 発行経費	<p>2022年度(令和4年度) 1部(16ページ)あたり(すべて税抜き)</p> <p>印刷製本費 @ 9.40円 ポスティング費用 @ 11.00円(障害福祉施設) @ 10.00円(高齢者団体) @ 17.80円(一般事業者)</p> <p>※20ページの場合は、印刷製本費が@12.00円に、障害福祉施設のポスティング費用が@12.00円となる(高齢者団体及び一般事業者は変更なし)。</p>
⑩ 編集過程での議員の関与	<p>通常、定例会開会日に開催する広報委員会でページ割を決定し、同じく閉会日の委員会で1面のタイトルと写真(市民公募したもの)を決定する。</p> <p>一般質問等の文章部分については、原則として、議員が原稿を執筆し、事務局にて実際の発言内容等と照合し、調整した原稿を掲載している。</p>
⑪ 一般質問記事の質問者名掲載	質問毎に会派名と質問者名(フルネーム)を掲載。



<p>⑫ 議会広報の特色と課題</p>	<p>ふなばし市議会だよりの特色</p> <p>①1面に掲載する写真やイラストを市民公募しており、四季折々の風景や行事の様子など、「船橋の魅力」が伝わるような写真やイラストを掲載している。</p> <p>②一般質問の記事を「企画・財政」「防災」など8つのジャンルに分け、市民が興味のある内容をまとめて読めるよう工夫して掲載している。</p> <p>③すべての人に見やすい紙面を目指し、紙面のフォントを、従来の明朝体からユニバーサルデザインフォントのゴシック体に変更している。(平成29年4月～)</p> <p>④読者に定例会の流れがわかりやすいよう、目次をあわせて「今定例会の主な流れ」を表紙に掲載。</p> <p>⑤「議案の概要」欄は、全議案を羅列するのではなく、主要な議案をピックアップし、その議案の内容をわかりやすい表現で掲載している。その他、市民になじみのない行政用語については適宜、用語解説をつけている。</p> <p>(※)現在は2段形式を採用している。広報委員会において、3段形式と4段形式にした場合についても議論されたが、2段方式が一番見やすいという意見が多く今後も2段形式とする予定。</p> <p>⑥「各委員会の報告」では、議案の概要を簡潔に掲載し、賛成・反対討論および採決結果などを視覚的にわかりやすく掲載している。</p> <p>⑦「議決結果」では、会派内で賛否がわかれたものがわかるよう「所属会派の○×と異なる議員」の欄を掲載している。</p> <p>252号(令和4年11月9日発行)の特徴</p> <p>①新型コロナウイルスや物価高騰に対応するための補正予算の内容を事業ごとに詳しく掲載している。</p> <p>②令和3年度一般会計決算について、グラフを用いて割合を掲載している。</p> <p>③夏休みに開催した「オンライン議会見学会」(※)の開催報告を掲載している。</p> <p>(※)オンライン議会見学会については、令和4年11月に開催された総務省主催の地方議会活性化シンポジウムにおいて、本市の取り組みの状況を議長が紹介した。</p> <p>その他</p> <p>①PDF版ふなばし市議会だよりを市議会ウェブサイトのほか、スマートフォンアプリ「マチイロ」にも掲載。令和3年11月から、電子書籍サービス「ちいき本棚」に新たに掲載を開始。</p> <p>②目の不自由な方等のために、音声版の「声の市議会だよりの」及び「点字版市議会だよりの」を発行。「声の市議会だよりの」については、ボランティア団体の協力により、音声の吹き込みを行っている。</p> <p>③声の市議会だよりのは、平成28年11月から従来のカセットテープ版と併せ、CD版の発行を開始。令和元年度から、市議会ウェブサイトにも最新号、前月号及び改選号を掲載している。</p>
---------------------	---

— 審査員のコメント —

盛りだくさんな内容で、編集委員の皆さんの熱意が感じられる。議案質疑、一般質問ともに「質問」と「答」が色分けされて見やすい。閉会中の委員会の活動について、視察先や見聞きした内容が一部写真入りで掲載されており、市民との話題作りにもなるのでは。視察内容が今後の議員活動にどのように反映されるのかも含め、市議会への関心を高める取り組みだと思う。会派と賛否が異なる議員の欄は一覧表にした方が見やすいと感じた。